

芙蓉総合リース株式会社
(コード番号：8424 東証プライム)
代表取締役社長 織田 寛明

芙蓉総合リース初となるトランジション・ファイナンス・フレームワークを適用した 商船三井グループとのオペレーティングリース契約を締結

芙蓉総合リース株式会社(東京都千代田区、代表取締役社長 織田寛明、以下「芙蓉リース」)は、昨年9月に策定の「トランジション・ファイナンス・フレームワーク^{※1}(以下「本フレームワーク」)に則り、Enabler(イネーブラー:他社の脱炭素に向けたトランジションを可能にするための投融資を含む活動の原資を調達する主体)として、株式会社商船三井(東京都港区、代表取締役社長 橋本剛、以下「MOL」)の子会社が運航する自動車専用船を対象としたオペレーティングリース契約を締結いたしました。

芙蓉リースは MOL グループが策定する「サステナブルファイナンス・フレームワーク」におけるトランジション戦略の重要なマイルストーンとなる LNG 二元燃料自動車専用船を本フレームワークに則ったオペレーティングリース契約にて提供します。芙蓉リースグループは中期経営計画「Fuyo Shared Value 2026」において、重点的に取り組む非財務課題について定量目標を定め、財務(企業価値)・非財務(社会価値)両面の実現を等しく追求しています。その中で「脱炭素社会実現への貢献」を重要な課題(マテリアリティ)のひとつに位置付け、CO₂排出削減を推進するさまざまなサービス提供を通じてお客さま・社会の脱炭素化実現に向けた取り組みに注力しています。

なお、本フレームワークに基づき芙蓉リースにて実施した適合性評価については、DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社から適合証明書^{※2}を取得しております。

芙蓉リースグループは、CSV(Creating Shared Value:共有価値の創造)の実践を通じた社会課題の解決と経済価値の同時実現により、企業グループとしての持続的な成長を目指しています。これからもお客さまのトランジションをサポートすることで、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

※1 芙蓉総合リース「トランジション・ファイナンス・フレームワーク」(2024年9月初版)

https://www.fgl.co.jp/sustainability/esg/pdf/transition_finance.pdf

※2 DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社「LETTER OF CONFORMANCE」

https://webmagazine.dnv.co.jp/assets/images/sus_list/data/sus_finance_list/_pdfreport_j/124.Fuyo%20General%20Lease%20Co.,Ltd..pdf

以上



リース契約の対象となる自動車専用船「CIELO ACE」

■船舶の概要

船名	CIELO ACE
竣工	2025年1月28日
建造	株式会社新来島どつく
サイズ	登録長: 196.00 m × 登録幅: 38.00 m × 登録深さ: 21.07 m 載貨重量トン数: 18,650トン
特徴	LNG燃料は、従来の燃料油に比べて、温室効果ガスである二酸化炭素(CO ₂)では約25~30%、硫黄酸化物(SO _x)では100%、窒素酸化物(NO _x)では約85%の排出削減効果が見込めます。(引用: MOL HP)

以上

お問い合わせ先

芙蓉総合リース株式会社 コーポレートコミュニケーション室 (担当) 山崎

電話番号: 03 (5275) 8891 URL: <https://www.fgl.co.jp/>